

第 108 回全国高校野球選手権大会

2 部制の時間帯開催時の熱中症疑いについて

2026 年 8 月 15 日 大会本部

第 108 回全国高校野球選手権大会では暑さ対策のため、日中の暑さの厳しい時間帯を避ける 2 部制の時間帯で、第 1～10 日（8 月 5～14 日）に 33 試合を行いました。4 試合を行う日は「朝の部」1 試合、「午後の部」3 試合としました。過去 3 大会で熱中症疑いの発生が最も多かった午前 10 時半～13 時ごろの時間帯の試合を初戦で避けるためです。

第 1、2 日は午後の部のみとし、第 1 日は 16 時から開会式を行い、17 時半から 1 試合を、第 2 日は、前日に開会式に参加した選手の疲労を考慮して 16 時から 2 試合を行う日程としました。

第 3～8 日は 8 時から 1 試合、13 時半から 3 試合を、第 9、10 日は 13 時半からの 3 試合)のみを行うことにしました（実際は雨天の影響で第 8 日第 4 試合を第 9 日の 10 時半からに変更しました）。

この間の選手・観客の熱中症疑いの発生状況、最終試合の終了時刻について概要をお知らせします。

●選手の熱中症疑いの発生状況

この 10 日間の計 33 試合で選手の熱中症疑いは計 9 件でした。107 回大会の第 10 日終了時は計 19 件で 10 件の減少でした（試合数は昨年は 32＝不戦勝のぞく＝でした）。

この 10 日間の発生は 1 日平均で 0.9 件、1 試合平均では 0.3 件でした。107 回大会の第 6 日以降（2 部制ではない開催時）の 1 日平均 1.6 件、1 試合平均 0.5 件より微減し、106 回大会の第 4 日以降（2 部制ではない開催時）の 1 日平均 4.5 件、1 試合平均 1.3 件より減っています。

なおこの 10 日間計 9 件は第 3～7 日の間に発生しました。内訳は第 1 試合が 6 件、第 2 試合が 2 件、第 4 試合が 1 件となっています。

■108 回大会

《2 部制時（第 1～10 日）9 件の内訳》

第 1、2 日 0 件

第 3～7 日

朝の部＝6 件（第 1 試合 6 件）

午後の部＝3 件（第 2 試合 2 件、第 3 試合 0 件、第 4 試合 1 件）

第 8、9 日 0 件

■107 回大会＝計 24 件

《2 部制時間帯時（第 1～5 日）8 件の内訳》

午前の部＝3 件 第 1 試合 2 件、第 2 試合 1 件

夕方の部＝5 件 第 3 試合 4 件、第 4 試合 1 件

※開幕試合はゼロ

※1 日平均 1.6 件、1 試合平均 0.5 件

《107 回大会第 6 日以降 16 件の内訳》（大会全体で計 24 件）

第 1 試合＝4 件、第 2 試合＝8 件、第 3 試合＝3 件、第 4 試合＝1 件

※1 日平均 1.6 件、1 試合平均 0.5 件

※決勝はゼロ

□107 回大会の 2 部制 初めて 4 試合日で 2 部制を行い、「午前の部」2 試合、「夕方の部」2 試合としました。第 1 日は 16 時から開会式を、17 時半から 1 試合を行い、第 2、3、5、6 日は 8 時から 2 試合を、16 時 15 分から 2 試合を、第 4 日は午前の部のみを行う日程としました（雨天の影響で第 3 日が夕方の部のみの開催となり、第 4 日に朝・夕方の部の 4 試合を行いました。2 部制の時間帯での開催は計 6 日間の予定でしたが第 6 日が中止となったため、実際は 5 日間の開催となりました）。

■106 回大会＝計 58 件

《2 部制時（第 1～3 日）8 件の内訳》

午前の部＝4 件（第 1 試合 1 件、第 2 試合 3 件）＝開幕試合はゼロ

午後の部＝4 件（第 1 日第 2 試合 1 件、同第 3 試合 2 件、第 2 日第 3 試合 1 件）

※1 日平均で 2.7 件、1 試合平均で 0.9 件

《第4日以降50件の内訳》

第1試合=11件 第2試合=15件 第3試合=19件 第4試合=5件

※1日平均4.5件、1試合平均1.3件

□106回大会の2部制 初めて2部制を導入し、3試合日で実施しました。第1日は「午前の部」として8時半から開会式、10時から第1試合を、「夕方の部」として16時から2試合を行う日程としました。第2、3日は午前の部として8時から2試合を、夕方の部として17時から1試合を行う日程としました。

■105回大会=計34件

第1試合=12件、第2試合=18件、第3試合=3件、第4試合=1件

※決勝はなし

●観客の熱中症疑いでの救護室受診状況

地元病院の協力を得て、大会中は球場敷地内に救護室を設置しています。2部制時10日間の観客の熱中症疑いによる救護室受診は82件でした。107回大会の第10日終了時の熱中症疑いによる受診は計86件で、単純比較で4件減となりました（試合数は今大会が33、昨年が32=不戦勝をのぞく）。

また今大会2部制時の1日平均の熱中症疑いは8.2件でした。107回大会の第6日以降（2部制ではない開催時）の10日間（件数136）の1日平均は13.6件、106回大会の第4日以降（2部制ではない開催時）の11日間（件数248）の1日平均は22.5件でした。

過去2大会の2部制時は、2部制で開催していない時と比べて、観客の熱中症疑いによる受診が減る傾向が顕著でしたが、今大会も同様の傾向が見られました。

【観客の熱中症疑いでの救護室受診】

■108回大会

2部制時間帯時（第1～10日） 計82件、1日平均8.2件

■107回大会=計155件

2部制時間帯時（第1～5日） 計19件、1日平均3.8件

第6日以降 計136件、1日平均13.6件

■106回大会=282件

2部制時（第1～3日） 計34件、1日平均11.3件

第4日以降 計248件、1日平均22.5件

□学校枠観客の救護室受診状況

学校枠観客(学校応援団)による救護室の受診(熱中症疑いだけでなく、けがなどを含む)は第10日までで計49件、1校平均0.7件でした。

■107回大会

2部制時間帯時(第1～5日) 計7件、1校平均0.2件

第6日以降 計46件、1校平均0.7件

■106回大会

2部制時間帯時(第1～3日) 計5件、1校平均0.3件

第4日以降 計113件、1校平均1.4件

■105回大会 計127件、1校平均1.3件

□応援団臨時休憩所の利用状況

主に学校応援団の生徒向けに一、三塁側アルプス席そばに空調がきいた応援団臨時休憩所を設けています。休憩所にはアイススラリー、スポーツ飲料、塩分タブレットなどを用意しており、近年、吹奏楽部員やチア部員を中心に積極的に休養をとるよう呼びかけています。今大会は第10日までに計4169人(1校平均63人)が利用しました。

大会を通じた利用状況をみると、105回大会は437人(1校平均5人)でしたが、106回大会は計5322人(同55人)、107回大会は4847人(同52人)となっており、応援団臨時休憩所の活用が定着してきていることがわかります。

●最終試合の終了時刻

2部制時の10日間の最終試合の最も遅い終了時刻は第3日長崎日大一立正大湊南の21時半でした。

107回大会2部制時の最も遅い終了時刻は第4日高知中央一綾羽(延長10回タイブレーク)の22:46でした(第3試合が天候不良のため67分間中断)。この試合は、試合時間が確認できる35回大会(1953年)以降で最も遅い終了時刻でした。

106回大会2部制時の最も遅い終了時刻は第1日岐阜城北一智弁学園(延長11回タイブレーク)の21:36でした。

以 上